

～ 講演「ジェンダー平等が社会を救う」の要点紹介 ～

第1報

- 今年の4月9日にロータリークラブ主催の講演「ジェンダー平等が社会を救う」をたかしんホールで聴きました。この内容はこれからの高鍋のまちづくりに大切との思いから、役場に提案し、実行委員会を設立し、12月10日講演会をすることが決まりました。
- 実行委員会で、7月12日に高鍋町役場に講師の富山所長をお迎えし、「ジェンダー平等が社会を救う」の学習会を約50名の関係者が参加して行いました。
- その時の要点を整理しましたので、ご紹介いたします。

「ジェンダー平等が社会を救う講演会 in たかなべ」実行委員会

■ 富山氏の「ジェンダー平等が社会を救う」から学ぶ！

・令和5年7月12日、富山所長を高鍋町役場に迎え開催した学習会資料の抜粋です。

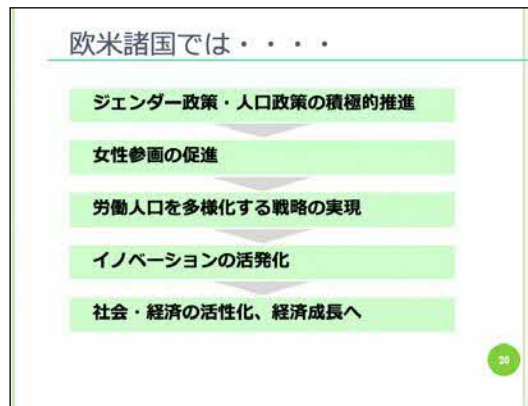


- 日本経済は この20年以上 横這い ジェンダーギャップ(男女格差) は「125位に後退」へ
- G7等各国は ここ約20年で確実に成長
欧米諸国ではジェンダー政策や女性参画を促進

ジェンダー・ギャップ指数ランキング
令和5（2023）年

順位	国名	値	世界146か国中順位
1	アイスランド	0.912	
2	ノルウェー	0.879	
3	フィンランド	0.863	
4	ニュージーランド	0.856	
5	スウェーデン	0.815	
6	ドイツ	0.815	
15	英国	0.792	
30	カナダ	0.770	
40	フランス	0.756	
43	アメリカ	0.748	
79	イタリア	0.705	
102	マレーシア	0.682	
105	韓国	0.680	
107	中国	0.678	
124	モルディブ	0.649	
125	日本	0.647	
126	ヨルダン	0.646	
127	インド	0.643	

内閣府男女共同参画に関するデータ集より



- 日本 いよいよ、待ったなし！！ ジェンダー平等、ともにすすめましょう！
- 個人の幸福と持続可能な社会の鍵を握る「男女共同参画」！

Well-being

個人の幸福と持続可能な社会の鍵を握る 男女共同参画

いよいよ、待ったなし！！

ジェンダー平等、ともにすすめましょう！！

今が、国民一人ひとりの幸福（well-being）を高めるとともに、我が国の経済社会の持続的発展を確保することができるか否かの分岐点である。

こうした危機感をもって、男女共同参画に強力に取り組む必要がある。

（令和2年12月閣議決定 第5次男女共同参画基本計画）

44

- なぜ世界はジェンダー平等を目指すのか
 - ・普遍的価値
 - ・経済合理性にかなう
 - ・持続可能性に不可欠
- ジェンダー平等は SDGsの一つのゴール と同時に
SDGs全体の目的の17のゴールを実現する手段

なぜ世界はジェンダー平等を目指すのか

1. 普遍的価値だから (1945年～)

- ・国連憲章・世界人権宣言
- ・国連女性差別撤廃条約、北京行動綱領など

2. 経済合理性に叶うから (2000年代前半～)

- ・世界銀行「ジェンダー平等は賢い経済」
- ・世界経済フォーラム「グローバルジェンダーギャップレポート」

3. サステナビリティ (持続可能性) に不可欠だから (2015年～)

- ・持続可能な開発目標(SDGs)
- ・G7サミット、G20サミット
- ・環境・社会・ガバナンス (ESG) 投資・経営

私たちが目指す世界
～2030年までの17の目標～

持続可能な開発目標

Sustainable Development Goals

SDGs

持続可能な開発目標(SDGs)は、貧困や不平等・格差、気候変動などのさまざまな問題を根本的に解決することを目指す、世界共通の17の目標です。



「ジェンダー平等」は、SDGsの1つのゴールであると同時に、**SDGs全体の目的であり、17のゴールを実現する手段**と位置づけられています。

- わたしたちがめざす社会！！
- 男女共同参画社会 = ジェンダー平等が実現された社会
- 男女共同参画社会基本法
 - ・男女の人権の尊重
 - ・少子高齢社会への対応
 - ・経済活動の成熟化への対応

わたしたちがめざす社会

男女の性別にかかわらず、
一人ひとりの人権が尊重され、
責任を分かち合い、
個性と能力を十分に発揮できる社会！！

➡ 男女共同参画社会
ジェンダー平等が実現された社会

男女 共同 参画

性別に
関わりなく
一人ひとり

ともに
一緒に

企画・計画
から



なぜ必要？ 男女共同参画社会

男女共同参画社会基本法

男女の
人権の尊重

社会経済情勢
の変化への対応

少子高齢
社会

経済活動の
成熟化

■ ジェンダーダイバーシティ(男女区別のない多様な社会) のメリット

・多様な 視点・アイデア・発想

→ 組織・企業・地域の活性化・経済社会の活力向上

■ DEIの促進 D = ダイバーシティ (多様性) E = エクイティ (公平性) I = インクルージョン (包摂)

DEIを促進する心理的安全性

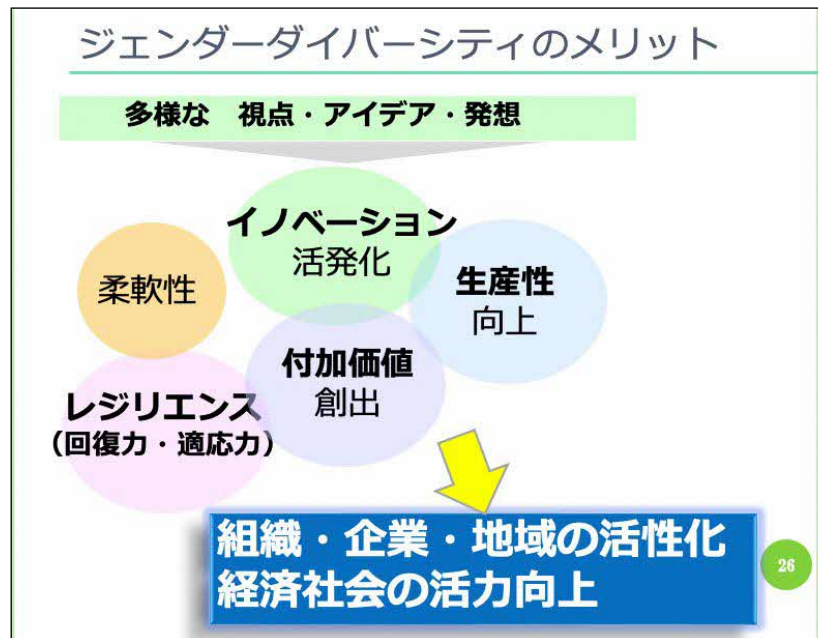
D (ダイバーシティ 多様性)
自分らしくいられ、スキル・強みが発揮・評価されている

I (インクルージョン 包摂)
自分が受け入れられていると感じることができる

E (エクイティ 公平性)
機会やリソース、評価などが属性に関わらず正当公平に扱われている

心理的安全性
対人リスクを恐れずに思っていることを気兼ねなく発言できる、話し合える状態

48



「平等 (Equality)」と「公平 (Equity)」

「全員に同じ自転車を与えること (平等) は、全員に健康になる機会を与えること (公平) とは違う」

イラストの「自転車」の大きさ・形は、社会的ルール・制度、人々の意識

Equality

Equity

資料: Robert Wood Johnson Foundation

19

■ なぜ進まない？ ジェンダー平等

- ・性別役割分担意識
- ・高度成長期の価値観への固執
- ・根強い無意識の偏見

■ 「無意識の偏見」の克服

- ・知る→気づく→動く
- ・実践の「自分事」化

なぜ進まない？ ジェンダー平等

1 固定的な性別役割分担意識

- ・「男は仕事、女は家事・育児」
- ・「男は一家の大黒柱、女は支える立場」等

2 高度経済成長期に醸成された価値観への固執

- ・「男性は長時間労働、女性は家事・育児+パート勤務」
- ・「男性主導型の均質的組織の常態化」等

3 根強いアンコンシャスバイアス

- ・「上に立つのは男性」「男性は強くて決定権がある」
- ・「女性は弱くて補助的業務に向いている」
- ・「育児中の女性社員に大きな仕事は無理」等



39

ジェンダー平等、ダイバーシティ&インクルージョンを進めるためには・・・

アンコンシャスバイアス（無意識の偏見）の克服

あなたは、「思い込み」を押しつけていませんか？

あなた自身の、そして、相手の可能性を、阻んでいませんか？

知る

気づく

動く！

実践の「自分事」化

3S

課題のシェア → シンパシー（共感） → サポート

41

- 高鍋町で、
「ジェンダーギャップ（男女格差）」が少なくなり、
「男女共同参画」の社会に変わっていくと、

私たちの子どもや孫の時代には、
希望のある安心な社会に近づくかもしれませんね。